

★創立七十周年記念出版

## 『やわらか子ども法話』執筆のこころ

真々園園主 桜井俊彦



認識の対象にはならない」という文章などは、「大人が読んでもさっぱりわからない」と言われました。これでは「子ども法話」という書名を見て買った読者から、「サギだ」と言われかねません。

「真々園の創立七十周年にあたって、何か記念になるものを残せないだろうか」と

昨年から考えていきました。多才な櫻井鎔俊和上は、歌を作ったり、書を残したりされたからです。

非才な私にできることは何もないと思っていましたが、先に出版させていただいた『インド仮跡ガイド』は、『真々園だより』に連載したものをまとめたものなので、同じように過去に執筆した記事をまとめるだ

けならできると思い、いくつかを集めて法藏館に渡しました。

出版社は、いかにして子どもたちに仏法を伝えるかに苦慮しているので「大人が読む子どものための本」を必要としていました。それで「心に響く二分間法話」のシリーズの一冊として発行することが決まりました。

編集者に「この話はむずかしいからはずしてはどうか?」と提案しましたが、「話の展開がおもしろいのでぜひ掲載したい」とのことでした。それなら、と、ほかの話も全面的に言いかえることにしました。

意味が大きく変わらないように、『広辞苑』などの辞書で確かめながらの作業になりました。中でも重宝したのは、小学生用の『国語辞典』でした。たとえば、自己→自分、華麗→華やかで美しい、生涯→一生、などかなりの言葉を言いかえました。

しかし、「天上天下唯我獨尊」など仏教でよく使う言葉は子どもにも覚えてもらいたいので、その言葉を生かしながら前後にわかりやすく意味を説明しました。

### ☆子どもでもわかる言葉に

編集担当者が三十八話を選んでくれて、原稿整理を依頼されました。心配したのは、むずかしい仏教哲理が果たして子どもに理解できるだろうか、という点です。たとえば「呼吸は神さま?」という章ではインド

哲学の「梵我一如」という言葉を説明しています。ためしに数人の大人に読んでもらつたところ、「(梵我一如の) 我は:主觀・客觀の二元対立を超えた我である。理性・

### ☆八歳の子が読めた

書籍は五月二十日に全国の大型書店に並びましたが、私の手元には早く届きました。ゴールデンウイークに、甥夫婦が八歳の娘を連れて訪ねて來たので、「これは子ど

【心に響く3分間法話】

## やわらか 子ども法話

さくらいとしひこ  
櫻井俊彦

法藏館

やわらか  
子ども法話

書籍は五月二十日に全国の大型書店に並びましたが、私の手元には早く届きました。ゴールデンウイークに、甥夫婦が八歳の娘を連れて訪ねて來たので、「これは子ど

も用に書いたものだから」と、プレゼントすると、さつそく女の子は一人で読み始めました。両親に「一番おもしろいのは『亀は万年』という落語の話だよ」と私がすすめたので、夫人が「『亀は万年』を読み終えた子どもに、「じやお母さんが本を見てから話してみて」と言うと、八歳の子はスラスラと間違いなく全部話すので、両親も私も驚きました。八歳の子でも読めることが証明されました。

### ★宗派にとらわれず

多くの方から礼状をいただいたうち、中村元東方研究所でお世話をなっている先生方からいたいた二通を、二十六頁の

「声」欄に紹介させていただきました。

中村先生の愛弟子だった先生方からほめていただき、まるで中村先生からあたたかい励ましをいただいたようで、そのお葉書にまた私が感銘しました。

この本に掲載した法話のなかで、私自身が一番感動した話は「あしあと」です。救われない者が救われるという「一種深信」の構造が示されているからでしょう。坂東性純先生のお寺に鈴木大拙博士が英語で書かれた墨跡の額があり、その言葉と一緒に

に味わうとより深く味わえると思い紹介しました。本誌裏表紙の「卑湿の汚泥に蓮華を生ず」（『維摩經』）とも共通します。

また、宗派にとらわれずひろく読んでいたいたいので、キリスト教の話も三話掲載しました。

宗派は違つても宗教として共通するところがあると思い、それぞれの信仰に合わせて味わっていただけるのではないかと思つたからです。

小さいお子さんをもつお母さんや、保育士さんたちからも感謝の言葉が届いており

ますので、子育て中、あるいは幼児教育に関わる方々にもぜひ読んでいただきたいと思います。

### ★三十八話の裏に秘めた言葉

子どもでも読めることを前提としたので、むずかしい仏教用語はすべて省きました。ここに、上に掲載の話、下に省いた仏教用語や出典を掲載順に記しておきます。

- ・おもいやりの心 || 利他之心。
- ・もしエラーがなかつたら || 自然法爾。
- ・笠地蔵の話 || 隨喜善。
- ・呼吸は神さま? || 一如。相続心。親鸞の和讃「ねてもさめてもへだてなく南無阿弥陀仏をとなうべし」のこころ。

### ★伝えたかったこと

信心とか信仰という言葉を使うと仏を対

- ・あしあと || 一種深信。
- ・グッドバイ || 諸仏護念。
- ・そばを切るコツ || 自力・他力。
- ・いのちより大切なもの || 唯仏是真。
- ・アンダースタンド || 凡夫。
- ・亀は万年 || 虚假不実、凡夫。
- ・おばあさんのささげもの || 布施。
- ・がんばって || 精進と執着。
- ・負け続けたハルウララ || 天上天下唯我獨尊。
- ・なやみの氷がとけて || 煩惱即菩提。
- ・五個のシュークリーム || 我執。
- ・九・十五条と遣隋使の書簡。
- ・形のない世界遺産 || 『十七条憲法』一。
- ・十円玉の話 || 価値と意味。分別智と無分別智。
- ・ビジネス || 初心。
- ・イナバウアーでとつた金メダル || 無分別智。
- ・ありの今まで || 自然法爾。
- ・粕と糠 || 不殺生。
- ・アクセルのない車 || 二元即一元。
- ・金メダルの裏話 || 知識と実践、体解。
- ・たれが風を見たでしよう || 真空妙用。
- ・卒業 || 求道心。

象的に見てむずかしく聞こえるので、「気づき」と表現しました。その他、次のことを念頭において書きました。

- ・おもいやりの心をもちましょう。
- ・おもいやりの心をもてない自分に気づきましょう。

・仏とは目には見えないはたらき。

・仏の教えはいたるところにあります。

・仏の教えを自分のこととして聞きましょう。

・仏教は実践が基本。

・念佛はほんとうの仏さま。

## ★日本の精神文化を世界へ



『仏教タイムス』紙6月8日の書評



『北國新聞』紙5月27日の記事



校正を終えた時、シリアで幼い子が空爆を受けて犠牲になつた写真がニュースで流れ、アメリカのトランプ大統領は対抗措置としてミサイルを五十九発撃ちました。

それを見て、「これではいつまでたつても戦争は終わらない。「子どもを戦争の犠牲にしてはならない」「人を殺してはならない」という考え方を全世界の人々に持つてもらいたい」とつくづく思いました。小さい頃に平和思想にふれていれば、大人になって思い出してもらえるかもしれない。そうすれば、少しは世界が平和になるかもしれません」と思いました。

「無形の世界遺産」の章にも書いておきましたが、「平和憲法」を外国人の人たちに知つていただきたい。その根っこには、仏心を育む助けに、心を育む助けにしてほしい」と語った。「真々園」は、桜井さんの中能登出身の宗教法人の父で、中能登町の浄土真宗本願寺派明泉寺住職を務めた鎧俊さんが設立した。「やわらか子ども法話を記念して20日に発売し、法話38編を収録しており、日常生活や言語などを題材にさまざまな教えを分かりやすく伝えてくる。法藏館刊、108円。

教を中心とした平和思想があります。観光や食べ物・メイドインジャパンのモノだけではなく、「日本の精神文化」の一端をこの本をとおして知つていただく機会になれば、と思いました。

真々園に昭和三十六年から三十年間学寮があり、後半から外国人たちが住むようになりました。縁のあつた彼らにも仏教の基本的な教えを知つていただきたい。また、むずかしい仏教語を使わず、子どもでも読める表現にしたのだから、彼らにそれぞれの母国語に翻訳していただくように計画を進めております。

私ひとりの力では及びませんが、多くの尊いご縁からせつかくこうして本を出版することができたので、学精寮にご縁のある人たちに協力していただいて、世界の平和にささやかでも役立つことができたら、と大きな願いを抱いております。

世界の平和にささやかでも役立つことができたら、と大きな願いを抱いております。

北國新聞社